

富士市立中央病院 病院だより

第 15 号

発行：平成24年1月20日



【Proud！Japan運動】

東日本大震災の被災地で、苦しいながらも秩序を守り助け合う被災者や救援活動を行う方々を「日本の誇り」と称え、ロゴマークを通じてエールを送ろうという運動です。

平成**24**年**4**月**1**日より、
特定初診料は**1,575**円となります。

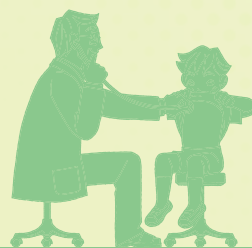


特定初診料は他の医療機関からの紹介状なしに、当院を初診で受診された場合に、通常の健康保険の自己負担金以外に、ご負担頂いております。当院の料金は平成9年4月の施行時より1,050円となっています。

特定初診料は「初期の診療は地域の医院・診療所で、高度・専門医療は200床以上の病院で」という厚生労働省が推進する医療機能分担の方針に沿ったもので、200床以上の総合病院に実費での請求が認められています。具合が悪くなった時に、総合病院で検査・診察した方が安心ということから、直接総合病院を受診される患者さまが少なくありませんが、紹介状をお持ちでない場合は別途料金として特定初診料をお支払い頂いております。

なお、救急外来受診などの緊急性の高い方、各種公費負担（こども医療・高齢者医療を除く）を受給されている方は、ご負担はありません。

今回の料金改定は、地域医療における機能分担をより進め、また医師の業務負担の軽減を図りつつ適切な治療を提供するために実施するものです。当院へ患者さまが集中することは、緊急性のある方の診察や処置などに悪影響が出ることが懸念されます。当院への患者さまの集中を緩和し、地域の医院・診療所などとの連携をより深め、効率的に救急医療、急性期医療を提供するために実施いたしますので、ご理解の程宜しくお願いいたします。



完全紹介状制の診療科について

当院では、整形外科・神経内科・産婦人科（婦人科のみ）・放射線科の4つの診療科は完全紹介状制となっております。初診の際には必ず紹介状をお持ちください。（紹介状をお持ちでない方は、診療をお断りし、他院への受診をお願いしております。）

左記診療科につきましては医師不足のため、全ての診療希望患者さまの受け入れが難しい状況ですので、やむをえずこのような体制となっております。ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。



最新型のCTを導入しました

狭心症や心筋梗塞の原因となる心臓血管の動脈硬化を調べるには、血管内にカテーテルを挿入する心臓カテーテル検査が通常行われていますが、最近の画像処理技術とコンピュータ技術の進歩にはめざましいものがあり、循環器領域においても、画像診断、特にCTは、非侵襲的心臓画像診断法として、広く臨床の現場で使用されるようになっていきます。

今回新しく導入する装置は、フィリップス社製Brilliance iCTで、世界最速の回転速度を有する最新型のCTです。(0.27sec/rot回転、256slice Helical Detector、1000mAの出力)わずか数秒で心臓全体のスキャンが可能になり、冠動脈血管内腔や冠動脈壁

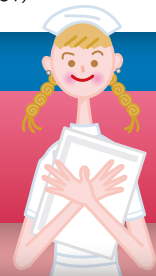
が鮮明に描出され、検査時間も短縮されます。さらに、iDose4という新しい画像再構成システムを搭載しており、従来と比較して大幅な被ばく低減が可能となります。

質の高い画像診断と蓄積された豊富なデータの解析実績を生かし、日常診療における画像診断の精度ならびに安全性の向上につながりますので、ぜひご利用下さい。



(フィリップス社製Brilliance iCT)

緩和ケア認定看護師誕生



(緩和ケア認定看護師 杉澤絵美)

緩和ケア認定看護師(日本看護協会認定)の杉澤絵美です。本年度、緩和ケア認定看護師の資格を取得し、9月より活動しています。

緩和ケアとは、生命を脅かす疾患にかかった患者さまの疼痛・呼吸困難をはじめとする身体症状や、精神・社会・スピリチュアル(霊的な・魂の)な問題を、その人が抱えるありのままの問題として看護を行う事を指し、治療の手立てがなくなった患者さまを対象とするのではなく、病名の告知を受

けた早期からの介入が必要となります。そのため、治療と並行しながら、心身共に緩和するケアを行っていきます。また、症状により変化する患者さまと共に、ご家族もケアの対象としており、ご家族の不安や悩みに寄り添い関わっていきます。

患者さま・ご家族の持つ価値観を大切に、生活の質の向上を目標とし、皆さまのお力になれるように努力していきます。



富士市立中央病院診療日程表

平成24年1月1日現在

診療科《部長名》		月	火	水	木	金	備 考
内 科 (代謝一般内科)《藤井常宏》	初診	山中 藤井 五條	小野 山城	井内 五條 谷口	高橋 藤井 五條	塩崎 五條 山城	水曜日の谷口医師の診察は、午後予約のみ 木曜日の平野医師の診察は、午前予約のみ
(呼吸器内科)《木村哲夫》		木村	木村	木村	木村		
(腎臓内科)《笠井健司》		福井	笠井	福井	福井	笠井	
(肝臓病)		梶原	馬場		平野		
神 経 内 科		(休診)	森田	高木	上山	森田	
循 環 器 科 (循環器内科)《三川秀文》	初診	阪本	(交替制)		山崎	富永 浦部	金曜日の富永医師の診察は、奇数週 金曜日の浦部医師の診察は、偶数週 《火曜日の初診受付は、午前10時まで》
		山崎	三川	三川	三川	三川	
(心臓血管外科)《田中 圭》		田中			浦部	阪本	
小 児 科《瀬川孝昭》		江間 瀬川 秋山	千葉 瀬川	千葉 瀬川 秋山	江間 秋山	千葉 瀬川 秋山	
外 科《梶本徹也》	初診	(交替制)	(交替制)	(交替制)	(交替制)	(交替制)	火曜日の午前が小山医師、午後が松本医師の診察 水曜日の午前が共田医師、午後が阿部医師の診察 ※はヘルニア・下肢静脈瘤外来 木曜日の森川医師の診察は、偶数週の午後2時～4時
		谷島	坂本	梶本	坂本	良元	
		共田	小山/松本	共田/阿部	小山	谷島	
		梶本 (交替制)※	良元	柏木	熊谷 森川	柏木	
整 形 外 科《田邊登崇》		田邊 飯田	永井 窪田 久富	(交替制)	永井 窪田 久富	田邊 飯田	《初診は完全紹介状制》 《水曜日は初診のみ(紹介状制)》 《水曜日の初診受付は、午前9時半から午前11時まで》
脳神経外科《諸岡 暁》		野田	秋山 諸岡	(交替制)	鈴木 野田	諸岡	《水曜日は初診のみ》 火曜日の諸岡医師、木曜日の野田医師は再診のみ
形 成 外 科《平川正彦》		平川	(交替制)	岸	平川	岸	《火曜日の初診受付は、午前10時まで》
泌 尿 器 科《後藤博一》		後藤	鈴木	後藤	鈴木	後藤	
産 婦 人 科《窪田尚弘》	初診	窪田 中島 原	中島 原 乙咩	鈴木 小田 窪田	原 窪田 鈴木	乙咩 鈴木 中島	《婦人科初診は完全紹介状制》 ←婦人科再診 ←妊婦健診
眼 科《藤谷暢子》		藤谷 渡辺	藤谷 渡辺	藤谷	藤谷 渡辺	藤谷 渡辺	
耳鼻咽喉科《高柳博久》		石垣 森本	高柳 (交替制)	(交替制) 森本	石垣 高柳	(交替制)	金曜日は初診のみ
皮 膚 科《津嶋友央》		津嶋 青島	津嶋 青島	津嶋 青島	津嶋 青島	津嶋 青島	水曜日の津嶋医師の診察は、奇数週 水曜日の青島医師の診察は、偶数週
放 射 線 科		成尾 竹永	萬/東条 竹永	(担当医) 清水/鱈井 竹永	(交替制) 竹永	成田/松井 竹永	←治療外来《初診は完全紹介予約制》 ←診断外来 《治療外来は午前中のみ》
歯科口腔外科《勝山直彦》		勝山 井出 中川	勝山 井出 中川	勝山 井出 中川	勝山 井出 中川	勝山 井出 中川	川瀬医師・高橋医師の診察は、火曜日は第2週と第4週、木曜日は第1週と第3週

※都合により、内容が変更になることがあります。

医師の人事異動について

病院総務課 内線2217



右記診療科において医師の異動がありました。これまで主治医として担当させていただいた患者さまには、大変ご迷惑をおかけいたします。

ご不明な点がございましたら、お問合せください。

診療科	退任医師名	就任医師名
退任日:平成23年11月30日 就任日:平成23年12月1日		
脳神経外科	ヤマ モト ヨウ ヘイ 山 本 洋 平	スズ キ ユウ タ 鈴 木 雄 太
退任日:平成23年12月31日 就任日:平成24年1月1日		
外 科	モウ リ タカシ 毛 利 貴	カシワ キ ヒデ ユキ 柏 木 秀 幸
	ヒラ モト ユウ キ 平 本 悠 樹	タニ シマ ユウ イチ ロー 谷 島 雄 一 郎
整 形 外 科	ヒラ マツ トモ ヒロ 平 松 智 裕	クボ タ ダイ スケ 窪 田 大 輔
耳 鼻 咽 喉 科	ヨシ ダ タク ト 吉 田 拓 人	モリ モト タダ ミツ 森 本 宰 充

皮膚科

各科紹介

皆さま、こんにちは。皮膚科です。津嶋、青島という2名の医師で診療に当たっています。

扱う病気は幅広く、かぶれ、アトピー性皮膚炎、じんましん、にきび、とびひ、水虫、タコ、イボが代表的です。また、粉瘤や皮膚がんなど、腫瘍の手術も行っています。重症の薬疹、帯状疱疹、蜂窩織炎などといった病気では、入院で治療する事もあります。更に、悪性黒色腫や皮膚の悪性リンパ腫といった極めて専門性の高い治療を要する疾患では、関連大学病院、県立がんセンターなどとも連携をとって治療に当たっています。

皮膚は人体の最も表面にありますので、外からの影響を受けやすい臓器と言えます。例えば、手荒れがなかなか治らない方の場合、仕事で使う油に

かぶれる方もいれば、手を洗いすぎてしまう方、手を掻くのが癖になっている方など、様々です。私たちは治療とともに、患者さま毎に適した説明、アドバイスをしよう心掛けています。皮膚の症状でお困りの方は、受診してください。



(皮膚科スタッフ)

病棟紹介 ～6B病棟～

6B病棟は、病棟ベット数54床と人工透析室10床を有しています。医師5名、看護師33名、医療補助員4名の総勢42名で構成され、腎臓内科と呼吸器内科を主とする病棟です。

腎臓内科では、慢性腎臓病に対して透析療法を開始する患者さまが多く、当院では1年間に約50人～60人が透析を導入されています。その際には、主治医及び院内透析認定看護師など資格を



(6B病棟スタッフ)

有する看護師を中心に治療法や日常生活について細やかな指導を行っています。また、医療ソーシャルワーカーと協力し、患者さまの負担が軽減するように社会資源の活用(身障者手帳の手続きなど)のお手伝いをさせていただいています。

呼吸器内科では、最近注目されているCOPD(慢性閉塞性肺疾患)や喘息だけでなく、高齢化社会に伴い誤嚥性肺炎などの患者さまが多く入院されています。

また、がんの痛みなどのある患者さまには、緩和ケア認定看護師の資格を有するスタッフを中心に痛みに対するケアをさせて頂いています。

日々、病棟目標の「患者サービスの向上を図り相手に伝わる看護を提供する」の心で、ご家族にも安心・納得していただける看護を提供できるように情熱を注いでいます。



患者さまアンケート結果のご報告

お問合せ：病院経営課(内線2221)

この度、当院では病院サービスの更なる向上を図るため、入院・外来患者さまに「患者さまアンケート」を実施しました。このアンケート結果を貴重なご意見として受け止め、今後より良いサービスの提供を目指していきたくて考えております。ご協力いただきました皆さま、大変ありがとうございました。

アンケート概要

【実施期間】平成23年10月18日(火)～21日(金) 【回収状況】入院：配布数395、回収数210、回収率53%
【対象者】入院・外来患者の皆さま 外来：配布数900、回収数823、回収率91%

アンケート調査結果(抜粋)

●当院が果たすべき役割は何か (%)

がんに対する高度・専門医療	17.8
脳疾患に対する高度・専門医療	13.4
心臓疾患に対する高度・専門医療	13.2
要入院患者の救急医療	12.8
ハイリスク分娩	10.6
災害時医療	9.1
小児医療	8.9
手術直後からリハビリ対応	4.2
入院不要患者の救急医療	3.7
通常分娩	3.3
予防医療	2.4
その他	0.6

●当院は地域貢献できていると思うか (%)

思う	思わない	わからない
72.0	5.7	22.3

●待ち時間に対する印象について (%)

	長い	やや長い	待たない
初診時の受付待ち時間	36.1	48.8	15.2
再診時の診察待ち時間	29.1	54.5	16.4
検査時の待ち時間	7.3	38.3	54.4
薬剤窓口の待ち時間	20.5	44.9	34.7

詳細は当院ウェブサイト(<http://fujishi.jp/~byoin/>)トピックスをご覧ください。



産婦人科外来の移設拡充及び女性外来の新設について

現在、当院の別館2階・3階病棟は、医療資源の効率運用と病院機能の集約化を図るため、平成19年9月から休止していますが、周産期医療体制の充実を図るため、改修計画を策定し、今後改修工事に入ります。

改修計画は、別館2階病棟に現在本館2階にある産婦人科外来を移設拡充させ、併せて女性外来の新設と現在別館1階にあるがん化学療法外来を移設拡充し、本館4階の産婦人科病棟と小児科病棟の改修を行うものです。

皆様の様々なニーズに沿った医療を提供するため、改修計画をスムーズにすすめ、さらなる医療体制の充実を図っていきます。



(富士市立中央病院の外観)



市民公開講座の報告とお知らせ

12月1日(木)、ロゼシアター小ホールにて市民公開講座を開催いたしました。講師として東京慈恵会医科大学 心臓外科主任教授の橋本和弘先生をお招きし、「死亡原因No.1! ～心不全って何?～」をテーマにご講演いただきました。当日は多くの市民の方がご参加され、心不全の原因や予防策について真剣に学ばれていました。



(橋本和弘教授)

また、平成24年3月8日(木)、ロゼシアター小ホールにて市民公開講座を開催いたします。講師にはテレビでもおなじみの国立感染症研究所感染症情報センター長の岡部信彦先生をお招きし、予防接種についてご講演いただきます。



総合相談センター ～こんな相談を受け付けています～

内線2046

●看護相談(がん相談含む)・よろず相談

..... 患者さまとご家族が抱える様々な問題を共に考え、解決していくお手伝いをします。
病気や治療のこと、退院後の生活に対する不安など、専任の看護師がご相談に応じます。

●医療安全相談..... 受けた医療に関して疑問や不安があるが医師に相談しづらい事など、専任のリスクマネージャーが ご相談に応じます。

●医療福祉相談(健診含む)..... 患者さまの介護保険の利用、医療費などの心配、退院後の生活の準備、転院先案内など、医療ソーシャル ワーカーがご相談に応じます。(医療福祉相談のみ 内線2918)

受付時間及び相談時間 月曜日～金曜日 8:30～16:30 ※場所は1階正面玄関入って、すぐ右手です。お気軽にお声をおかけください。

その他の病院内の相談は・・・

●お薬相談 相談室(お薬渡し口隣り)

月～金 8:30～17:00

お問い合わせ:薬剤科 内線2126

●栄養相談 栄養相談室(2階循環器科外来隣り)

月～金※予約制です。

お問い合わせ:栄養科 内線2146

●検査に関する相談・血糖自己測定器の説明 中央検査相談室(2階)

月～金 8:30～17:00

お問い合わせ:臨床検査科 内線2267

●フットケア相談(糖尿病患者さまの足のケア) 内科外来(2階)

第2・第4水・木曜 13:30～15:30

お問い合わせ:内科外来 内線2285

●医療放射線被ばく相談 放射線科外来(1階)

火・木曜日※予約制です。

お問い合わせ:中央放射線科 内線2153



各種教室の紹介

患者さまとご家族を対象とした各種教室を開催しています。
開催日・講義内容については中央病院にお問い合わせの上、
お気軽にご参加ください。開催場所は、各教室いずれも中央病
院2階大会議室です。

●腎臓病教室 お問い合わせ:栄養科 内線2146

日時:毎月第3火曜日 15:00～16:00

●ファミリークラス お問い合わせ:産婦人科外来 内線2337

日時:毎月3回 13:00～15:00

出前講座の紹介

当院職員を学校・会社・町内会の集まり・医療施設等へ派遣します。
講座は全部で61メニュー、全て無料で実施します。ぜひ、ご利用ください。

詳細は当院ウェブサイトまで

<http://fujishi.jp/~byoin/>

お問い合わせ:病院経営課 内線2221

富士市立中央病院 Fuji City General Hospital

～平成23年度病院指針～「あたたかい心配りが第一歩」

〒417-8567 静岡県富士市高島町50

電話:0545-52-1131 FAX:0545-51-7077

E-mail: byoin@div.city.fuji.shizuoka.jp

ウェブサイト: <http://fujishi.jp/~byoin/>

アクセス

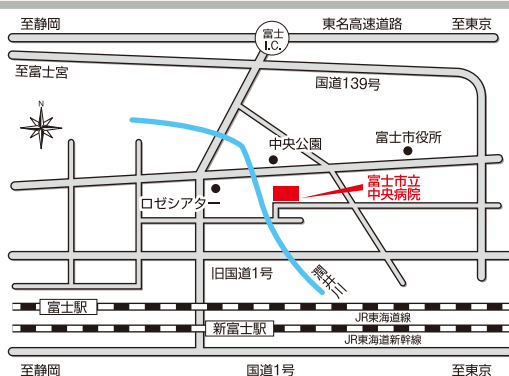
富士ICより 車で10分

東海道本線富士駅より タクシーまたはバスで10分

東海道新幹線新富士駅より タクシーで10分

○病院だよりに関するご意見ご要望は病院経営課へお願いします。

電話:0545-52-1131 内線:2221・2222 E-mail:ch-keiei@div.city.fuji.shizuoka.jp



「自分で考えるチカラ」がつく、教材と指導メソッド



お子さまの変化を
体感してください。

**無料体験学習
実施中!**



学研教室

詳細は
WEBへ

学研教室

静岡事務局

☎0120-889-100

受付9:00～17:00

〈土日祝は除く〉



どうぞお気軽にご相談下さい

間違いない補聴器選びをお約束

お客様本位の接客姿勢

安心の貸出しシステム

ご購入後の再調整まで



安心の証!
認定補聴器技能者在籍
のお店です

富士市石坂
大淵街道沿い

お身体が不自由で来店
できない方はスタッフが
出張いたします!

富士市石坂 85-16
TEL・FAX
0545-53-2365

営業時間
9:00～17:00
日・祝日定休 駐車場有

広告に関する一切の責任は広告主に帰属します。また、富士市が推奨するものではありません。

「病院だより第16号(4月20日発行)」に広告を掲載しませんか。お問い合わせ:病院経営課 内線2221・2222